

【高等学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名	佐賀県立佐賀北高等学校通信制
-----	----------------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	- 各評価項目については概ね達成できた。重点目標に掲げている能力や人間力の向上ができたのではないと思う。また、個別指導や学習会で単位取得、就職、進学にも対応できた。進学についての参加者が増加傾向であるため、対応改善の必要がある。 - 多様な生徒については、各担任の尽力で対応できている、来年度以降も状況は変わらないため、さらに組織的に対応できるような体制を構築する必要がある。 - 入学者が増加傾向であるため、入試業務や科目登録業務に支障が出てきている。入試業務等への対応のため、スクーリング日程等を大きく変更した。科目登録についてもICT等を活用し改善をすすめていく必要がある。	
------------------	--	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	県内唯一の公立通信制高校として、生徒一人一人の可能性に応じた学びの場を提供し、各自が身に付けた体験や経験を、将来の自分の在り方・生き方に活用できる生徒を育成する。
----------------------------	---

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
3 スクール・ポリシー	「高校卒業資格を得たい」という強い意志を持った生徒を求めます。 - 失敗を恐れず挑戦することや最後まであきらめず努力する意気込みのある生徒を求めます。 - 自由と責任を両立させ、目標に向かって主体的に取り組む意欲のある生徒を求めます。	- 基礎・基本を大切にするとともに、多様な教科を開設する単位制のメリットを生かして、個別最適な学びを実現します。 - キャリア教育を推進し、生徒それぞれの希望・能力・適性に合わせて進路実現を支援します。 - 外部講師による講話など、多様な価値観に触れる活動を実施・奨励します。 - 教科指導や部活動、学校行事などを通して、命を大切にする心、寛容性、協調性を育みます。	「学んだことを生かして、豊かな人生を切り拓く」とともに、より良い社会の形成者として、調和と協調に基づくウェルビーイング（自己と他者の幸福）の実現に貢献する人材を育成します。 - 地域課題や社会の問題に目を向け、自ら主体的に知識や経験をもちにした柔軟な対応力と諦めず粘り強く取り組む姿勢を育成します。 - 他者を理解し尊重する気持ちをもち、自己も他者も生かすことができる豊かな人間関係を築く力を育みます。

4 本年度の重点目標	・ 学校生活を充実させ、主体的な学びにより学力向上を図り、単位の修得、高校卒業につなげる。 ・ 生徒の希望進路を把握し、情報を提供しながらより良い進路実現に努める。 ・ 多様性を認め自分も人大切にする心や協調性を養い、社会的自立と将来の社会の形成者としての自覚を促す。 ・ 働き方改革に基づいた業務の効率化
-------------------	--

重点取組内容・成果指標			中間評価		最終評価					
(1)共通評価項目									主な担当者	
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	★単位修得率の向上	○前年度の単位修得率82.9%(4年88.9%、3年89.7%、2年82.4%、1年74.1%)の維持・向上。	・スクーリングへの参加を呼びかけ、予習復習の定着を図る ・「学習のしおり」「樟蔭」の有効活用や担任と毎月1回、学習状況を連絡する。 ・リポートを期限内に提出し、合格できるように指導する。	B	・科目担当、担任からスクーリングへの参加を呼びかけるとともに予習復習の呼びかけを行っている。 ・学習状況通知を各月のスクーリングで配布している。 ・スクーリングなどで期限内提出を呼びかけている。	A	・スクーリングに出席できている生徒は69% ・前期半期科目の単位修得率平均73%(最高90%、最低50%) ・通年科目の前期テスト受験率平均81%(最高100%、最低65%) ・通年科目の前期テスト受験率および後期半期科目への取り組み等より年間を通しての単位修得率は87%と前年度の82.9%を上回った。	A	・毎月「樟蔭」ではスクーリングの日時や行事の情報等が分かりやすく記されている。 ・期末勉強会への出席や放送視聴票の提出で面接時間が認められたり、様々な事情を抱える生徒に対しても充分な補填措置があると感じた。また、その情報提示も適切に行われている。	教務 学習指導
	○進学学習会や就職対策の強化	○進学学習会、就職対策講座の開講と充実	・「樟蔭」やスクーリング連絡、進路説明会等を通して、学習会や就職対策講座の広報活動を行う。	A	・就職対策講座の参加者は22名で、例年の倍以上にあたる14名の生徒が職場見学への申し込みを行った。 ・進学学習会の参加者は8名で、おおよそ参加できた。	A	・高卒新卒で就職試験に挑戦した生徒は、延べ16人に達した。 ・「進学学習会」で共通テスト直前まで頑張った生徒が2名いた。就職や進学推薦での個別指導は、進路・学年団を中心にほぼ全職員で行った。その結果、「進学学習会」、「就職対策講座」、個別指導の満足度は、「役に立った」と「やや役に立った」の両者を合わせ90%に上った。	A	・卒業生を講師に招き卒業後の進路について話を聞くなど、在学中から進路を意識させる事が出来ている。 ・個別指導も充分行われている。	学習指導 進路指導
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○樟蔭やスクーリング連絡、LHR等を利用してモラル意識を高める。	・スクーリングでは、朝の挨拶指導での声掛けや服装についても注視し、高校生としてのモラル意識の向上を推進する。	A	・朝の挨拶指導は生徒会で実施 ほとんどの生徒たちが挨拶をしてくれた	A	・スクーリング時の服装に「気をつかった」生徒は49%、「楽しく参加できた」生徒は50%であった。 ・スクーリング時に生徒会役員と生徒会の職員と朝の挨拶運動を実施した。全体的に落ち着いた雰囲気の中で生徒たちは学習に取り組めており、学校生活の規律と他者への尊重と他者との協力はできている。	A	・生徒会を中心とした朝の挨拶運動は伝統のようなものであり、現在も続いている事が素晴らしいと感じる。今後も続けていただきたい。 ・卒業式でのそれぞれの身なり、所作が素晴らしいと感じた。	保健・教育相談 生徒指導
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめアンケートの実施(前期1回、後期1回)の充実	・LHRやSHR、学校行事等にいじめ撲滅について啓発活動を実施する。	B	・7月のスクーリングでいじめアンケートを実施	B	・1月のスクーリングでいじめアンケートを実施。・前期に1件の認知、後期に1件の認知があり、前期1件の事案については解消した。	A	・通信制という特性上 対応も難しいと思うが、撲滅へ向けた指導や聞き取りがしっかりと行われている。	生徒指導 保健・教育相談
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒70%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間1回実施	・例年11月ⅡSIに「講演会」を実施しているので、今年度は生徒に早めに広報し、「佐賀語り」を利用し事前の学習を呼びかけたいと考えている。	A	・今年度の講師はSAGA2024国スポに関することを講演していただきたいと考え、三日月中、田代中、諸富中で校長を歴任された渡瀬浩介先生に「地域・人・緑の繋がり」という演題でお話をさせていただきました。	A	・11月実施の「講演会」アンケートの結果は、概ね良好でほとんどの生徒が郷土の価値を再認識することができたと回答した。 ・1月に実施した卒業予定者へのアンケートでも佐賀県人誇れるところがある、誇りや愛着を感じると回答した生徒が多数あった。	A	・講演会の実施は有効的である。今後も続けていただきたい。 ・実現は難しいかも知れないが、生徒を募り地域のボランティアに参加するなどの活動があれば、より地域に目が向き佐賀県への愛着も湧くのではと感じる。	教務
●健康・体づくり	○安全に関する資質・能力を育成する	○生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・6月の生徒指導講話で交通安全にも触れ、生徒の意識を高める ・スクーリング連絡や「樟蔭」で健康診断の連絡を行う ・保健体育や家庭科の授業でも健康診断の必要性について説明する	A	・生徒の交通事故については現段階では0件 ・心臓検診の受診率は100%(休学者を除く)、検尿の受診率は82%であり、良好であった。検尿については要精密の生徒は全て病院受診につなげることができた。	A	・交通ルールの遵守については、全体の97%の生徒が守ることができ意識は向上している。 ・心臓検診、検尿の受診率は昨年度より良好であった。卒業年次生対象の定期健康診断(身体測定、内科検診、歯科検診)の受診者が60%に達していないので、年度当初から複数回受診の案内をしていた。	A	・生徒の交通事故が0件である事は素晴らしい。引き続き交通安全への意識を高める指導を行っていただきたい。 ・「樟蔭」ではスクールカウンセラーの言葉も載っており、生徒の心の健康も考えられている。	保健・教育相談
	○健康を考えて行動できる能力を育成する	○学校での健康診断の受診率が60%以上にする								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・スクーリング等の振替の弾力化、定時退勤日、学校閉庁日の設定 ・出退勤システムの有効活用 ・ICTの活用による業務の効率化	A	・4月から11月までの平均時間外在校等時間は、15時間43分と今後もう少し削減していきたい。 ・定時退勤日については、問題なく実施できている。 ・定時退勤日以外の日も早めに帰宅するよう管理	A	・4月から1月までの平均時間外在校等時間は、14時間46分であり、1昨年度から2時間50分、昨年度から20分削減できた。産業医面接の該当者もなかった。 ・定時退勤日については、問題なく実施できた。	A	・今後も協力し合いながら、負担が偏らない勤務をしていただきたい。	管理職
●特別支援教育の充実	○生徒の状況に応じた支援・配慮を実践する	○年に2回、生徒に関する情報交換会を実施する ○特別支援教育に関する研修会を実施する	・4月と10月に共通理解が必要な生徒の情報交換会を実施し、適切な支援ができるようになる ・研修会を実施し、教職員の特別支援教育に関する理解を深める	A	・4月と10月の生徒情報交換会は予定通り実施し、全職員に共通理解を図ることができた ・保護者会でのSCの講演を全職員で聞き、様々な生徒への理解を深めることができた	A	・4月と10月に生徒情報交換会を実施。全職員で情報を共有し指導に活用することができた ・SCの講演を全職員で聞き、特別支援教育に関する理解を深めることができた	B	・情報交換会が行われているのは評価出来るが、回数を増やせば、更に生徒の様々な事情に配慮した対応が出来るのではと感じる。 ・今後も、生徒に寄り添った支援を続けてほしい。	保健・教育相談
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									主な担当者	
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組)	○(学校独自重点取組)	・	・	・	・	・	・		
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組)	○(学校独自重点取組)	・	・	・	・	・	・		
○(独自評価項目・任意)	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自重点取組・任意)	・	・	・	・	・	・		
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり										
6 総合評価・次年度への展望			・学校生活を充実させ主体的な学びにより単位修得の向上につなげることができた。引き続き、スクーリングへの参加を呼びかけ、予習復習の定着を図るよう促す。 ・「樟蔭」やスクーリング連絡、進路説明会等を通して、進路に係る情報提供を行い生徒の高校卒業後の進路を意識させるとともにより良い進路実現に努める。 ・生徒たちは全体的に落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組めており、多様性を認め他者への尊重と他者との協力はできている。今後もスクーリング時の挨拶運動は続けていきたい。 ・働き方改革に基づいた業務の効率化はできており、今後も協力し合いながら、負担が偏らないよう業務を行ってきたい。							